

平成20年度慢性期入院医療の包括評価に関する調査
 《提供されている医療サービスの質の検証》

2. 評価票から試算したQIと患者特性調査から算出したQIの比較

【分析方法】

レセプト調査の際にレセプトに添付されていた評価票からQIを算出し(1)、さらに同じ病院の患者特性調査結果からもQIを算出した(2)。分析可能であった50病院を対象とした。

なお、レセプト調査の調査月(1月)と患者特性調査の調査月(3月)が異なること、またそれぞれ算出方法が異なることに注意を要する。

(1) 現行の評価票から試算可能なQI項目と算出方法

項目名	分子	分母 (記載の無い場合、当月入院の患者を除く全患者)
褥瘡 ハイリスク	Ⅱ度以上が1箇所、Ⅰ度以上2箇所	ADL項目のうち、「ベッド上の可動性」か「移乗」のいずれかにおいて、4以上に該当した患者
褥瘡 ローリスク	Ⅱ度以上が1箇所、Ⅰ度以上2箇所	褥瘡ハイリスクに該当する患者を除外
尿路感染症	尿路感染症である	
ADLの低下	期初と期末を比べて、ADL区分が悪化している	

【評価票からのQI試算結果】

QI項目	病院数	分母の患者数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	平均+2標準偏差
褥瘡	50	2,360	6.3%	8.1%	0.0%	35.6%	22.5%
褥瘡 ハイリスク	46	1,740	7.7%	10.1%	0.0%	37.5%	27.8%
褥瘡 ローリスク	47	587	2.3%	5.0%	0.0%	23.1%	12.3%
尿路感染症	50	2,360	6.2%	14.4%	0.0%	95.0%	35.0%
ADL低下	50	2,360	1.7%	2.7%	0.0%	11.9%	7.0%